

がまごおり「みらいキャンバス」 第2回市民ワークショップ

蒲郡市教育委員会 教育政策課

2025.2.9

【支援事業者】(株)シアターワークショップ

【協力企業】(株)図書館総合研究所、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)

(有)マル・アーキテクチャ、(株)国際開発コンサルタンツ

本日のスケジュール

- 14:00 **ごあいさつ
イントロダクション**
- ・ 前回のワークショップの内容振り返り
 - ・ グループワークの進め方説明
- 14:15 **グループディスカッション（20分）**
- ・ 自己紹介
 - ・ 前回の振り返り
- 14:35 **グループワーク（40分）**
- ・ シンキングタイム
 - ・ グループ内発表
 - ・ グループ内の意見交換・まとめ
- 15:15 **- 5分休憩 -**
- 15:20 **全体発表（20分）** 1グループ当たり 3分
⇒ 全チームのパネルを見て投票
- 16:00 **閉会**

前回のワークショップの振り返り

第1回ワークショップの様子



日時 2024年12月22日（日）

会場 蒲郡市民体育センター

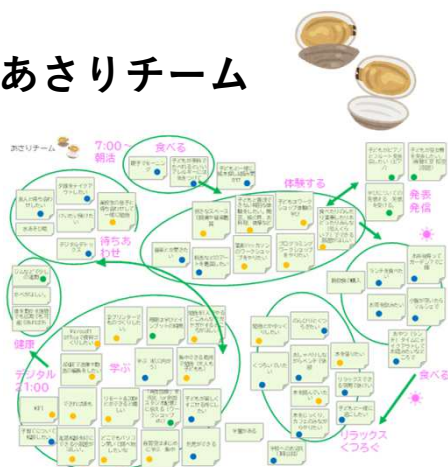
参加者 33名

テーマ この施設に1日いるとしたら、何をしてどう過ごす？

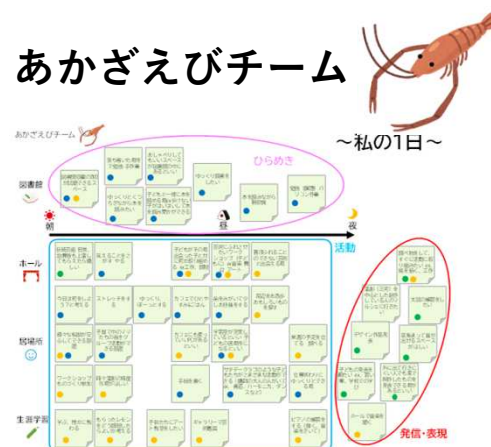
内容 それぞれの参加者がみらいキャンバスでやりたいことを考え、アイデアを出し合った。そのあとチームごとに、1日の流れを1つのワークシートにまとめた。

各チームのワークシート

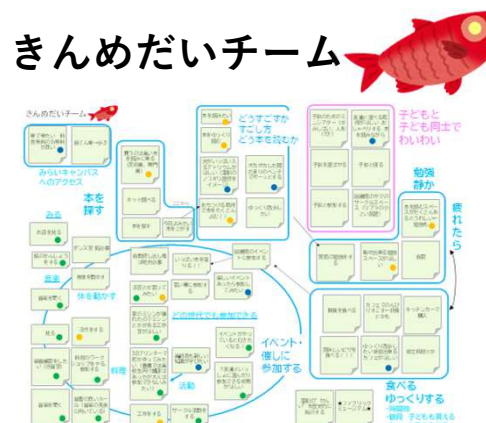
あさりチーム



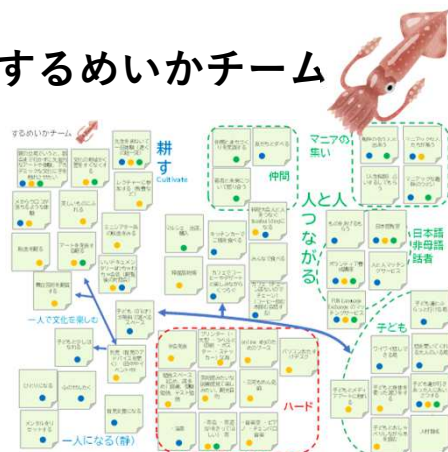
あかざえびチーム



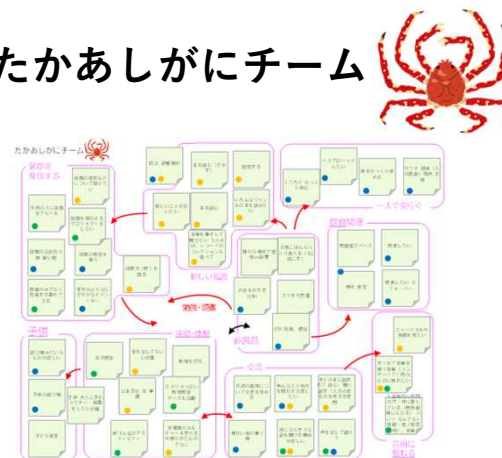
きんめだいチーム



するめいかチーム



たかあしがにチーム



めひかりチーム



各チームの発表より



あさりチーム

- ✓ モーニングなど、朝の時間帯に過ごせると、市民の利用が高くなる
- ✓ 学校が終わってから15時～17時頃の、こどもたちの受け皿となる場所
- ✓ 動くことのできる大きな広場などがあると良い、自然とデジタルデトックスもできる



あかざえびチーム

- ✓ 色々なものに出会える図書館があり、そこからひらめいて、すぐに活動ができる場、それを紹介していきたくなる
- ✓ ひらめき→活動→発表
- ✓ 子どもたちが様々な活動ができ、そういった活動をしていく中で大人も発信・表現できていく



きんめだいチーム

- ✓ 本を探すところから始まり、静かに勉強、子ども同士でワイワイ楽しく過ごすなど。疲れたらゆっくりできる場所
- ✓ 来館した際にイベントをやっていて、気軽に参加でき、体を動かしたり、音楽が聴ける場所
- ✓ 世代を限定しないイベントで、高齢者も学び続けたい

各チームの発表より



するめいかチーム

- ✓ 個人を高めていく（耕す）、人と何かをするの2方向ある。人と人とのつながりは、マニアな集まりや若者と未来について語る場など
- ✓ 本を読む、子ども食堂を中学生がやるなど子どもに学びの深い場
- ✓ カフェ、キッチンカー、マルシェなど、憩う場所



たかあしがにチーム

- ✓ 必需品が軸となって、勉強や読書、蒲郡の歴史を知ること、蒲郡の物産購入などにつながる
- ✓ ○週目○曜日は夜市があるなど、夜遅くまで楽しめるイベントがある
- ✓ 活動や体験型アクティビティがあり、世代を超えて交流したり、共通の趣味の人と芸術に触れたい



めひかりチーム

- ✓ 個人での過ごし方として、とにかくぼーっとしたい、仕事をしたい。また、飲食ができる、蒲郡みかんが置いてあるなどが良い
- ✓ 自分で調理した料理を食べたり、中学生を中心とした子ども食堂など
- ✓ 蒲郡についてもっと知ることができ、広がるものが良い

第1回ワークショップまとめ

予定されている機能から、
はみ出した、拡張した
アイデアが生まれた！

活動の実現には、機能の混ざり合いや、
何にでもなれる、どこにでもつながれる場の在り方が重要

可変性のあるスペースや、
アナログや最新デジタルまで、
様々な設備が気軽に使える環境も大切

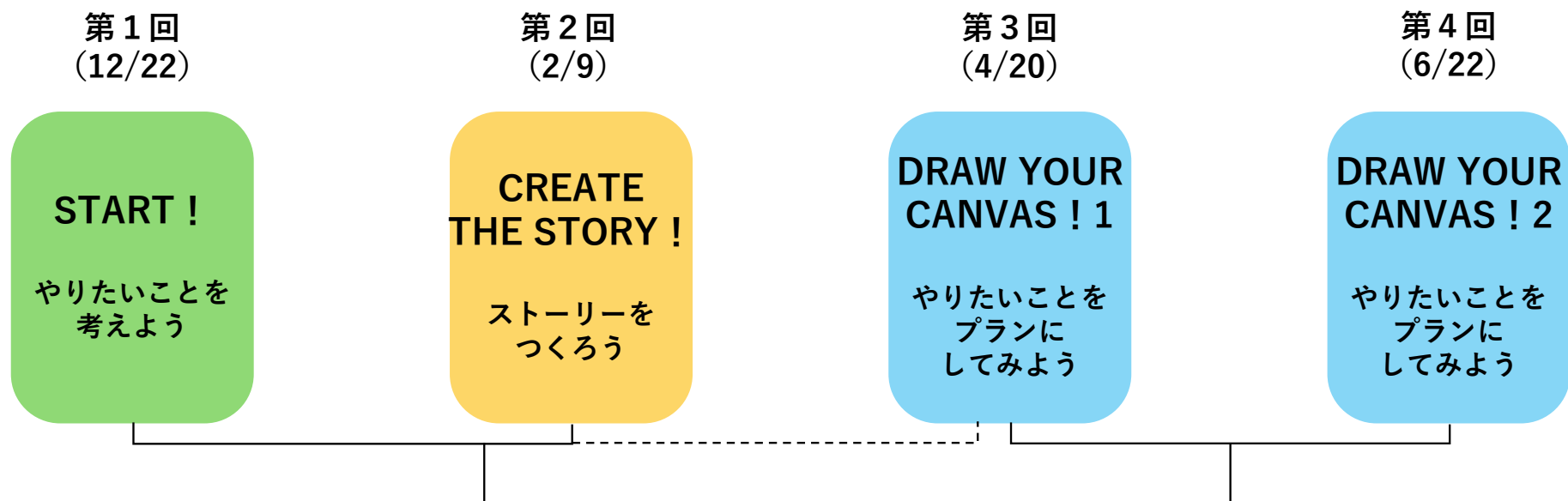
参加する、教える、教えられる等
の交流が大きなテーマ。
一人で過ごしたいという意見も。
多様な過ごし方の実現が必要

子どもたちがいかに
「みらいキャンバス」を
使ってくれるか

これまでの蒲郡を大事にしながら、
これからの蒲郡をつくる！



ワークショップ全4回の流れ



基本計画への反映

- みんなのやりたいことを抽出し、ストーリー（具体的な行動）をイメージすることで、必要なサービスや機能にフィードバックする

市民の多様な活動の土台づくり

- 作成したストーリーの中からやりたいことをピックアップして、具体的に活動内容を考えてみる
- 開館前までの活動につながる必要な体制も含めてみんなで一緒に考え、活動の土台づくりを行う

「みらいキャンパス」第1回 市民ワークショップ
アンケート回答より

感想をどうぞ！

- 幅広い年齢層の方と出逢えてとても貴重な時間になりました。皆さんと交流できるのも楽しいです！
- 若い人の意見が参考となり、楽しみな「みらいキャンパス」になりそう。
- 蒲郡の未来は明るいと思いました。楽しかったです。
- 皆さん良いものを作ろう作りたいという気持ちが伝わりました。
- 蒲郡の街をよくしたい人達がたくさん集まり、それぞれの意見やまとめ方等に触れて、コミュニケーションを楽しくとることができました。今後も楽しみに参加させていただきます!!
- みなさんインスピレーションの場で、とても刺激を受けました。色々な意見を出し合えて楽しかったです。
- グループの皆さんのアイデアやほかのグループの皆さんのアイデアを聞くことができ、自分では思いつかない素敵な、大事なアイデアだと思い、勉強になりました。
- とても話しやすいふんいきでした。グループの発表がおもしろかったです。次回も行きたいと思いました。おかしが良かったです。
- 子どものことを考えた楽しいワークショップでした。みらいキャンパスに取り入れて頂けると嬉しいです。
- ATM大事ですね(笑) 色々な人から色々な意見が出てたくさんの視点が加わるととてもいいものができるそうです。発表中なかったのですが、バリアフリー的な視点もたくさん入るといいなあとから思いました。

言いそびれてしまったこと、今後の要望など、なんでもどうぞ！

- 大人と子どもに目を向けがちですが、その間の高～大学生にも何かあるといいと思いました。様々な意見が出て、あれもこれも、とがちですが、文化芸術や学習以外の面ではポートレース場周辺に体を動かす場、海関連は生命の海科学館や水族館など、みらいキャンパスはそれらを紹介する場であるといいと思いました。ただ、紹介した先がバスや電車で行きづらいのは困るかなと思いました。
- 逆のえきがあればいいと思います。
- 始めにも言ったのですがメンテナンスにお金がかかるようなおしやれにこだわった建物はやめて下さい。税金の無駄になってしまいます。
- 子供にも手厚い…、高齢者にも手厚い…などなくどの年代にも手厚い施設に。又、蒲郡市民だけではなく、「観光施設」としての機能も!!
- はらみちゃん好きなのでピアノいいです。
- 今後もワークショップを定期的に開催していただきたいです！
- 「蒲郡でしか体験できないこと」が感じられる施設になれば良いなと思いました。
- 蒲郡が、みらいキャンパスを機会として活気があふれる街になってほしい
- ATMいいですね(がましん、ゆうちょほしいです) 立駐(無料!!) がほしいのを伝え忘れました。
- 温泉や足湯などが町の中心にあるのはとてもステキだと思います。
- 3時～5時の子どものうけ皿 デジタル技術の活用(Adobe、3Dプリンター、VR)
- ガワだけではなくソフト的なところの仕組みづくりの設計がキーになりそうなのでDXが大切そう。こういうWSは早いうちに懇親会やっておいた方が良さそう
- みんなの意見が現実になっていく事が楽しみです。

お手元に、アンケート結果もお配りしています。

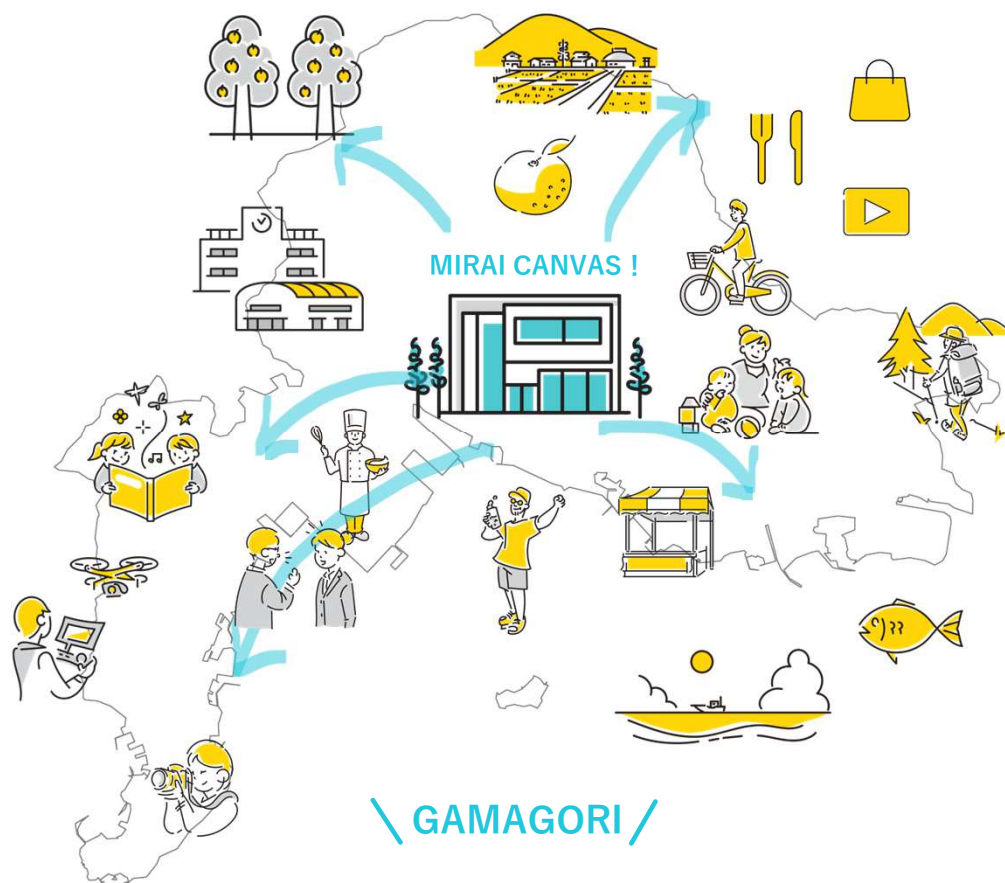
【アンケートでいただいた質問】

- 中々休憩が取れない…。
- 倉庫の前の机で、めっちゃ寒かったので扉を閉めてもよかったのでしょうか？
- 質問する時間が欲しかった
- 第3回、第4回の日時を早めに決めていただけると参加しやすいです。
- 今日のまとめはどこで見られますか？
- なぜ、学生がいないのか、残念（数人居たかな）学生へのアプローチ不足なのか？それとも学生は別にワークショップを開くのか？

今日のワーク

- CREATE THE STORY ! ストーリーをつくろう -

今日（第2回目）のテーマ



この施設がまちとつながり、
10年、50年後の蒲郡がどうなっているか、
キャッチフレーズを考える

考えるにあたって…

● 施設とまちとの関係性

施設の中だけで完結することなく、人々の活動やつながりを支え、まち全体にどのような影響を与えると良いかを考えます。

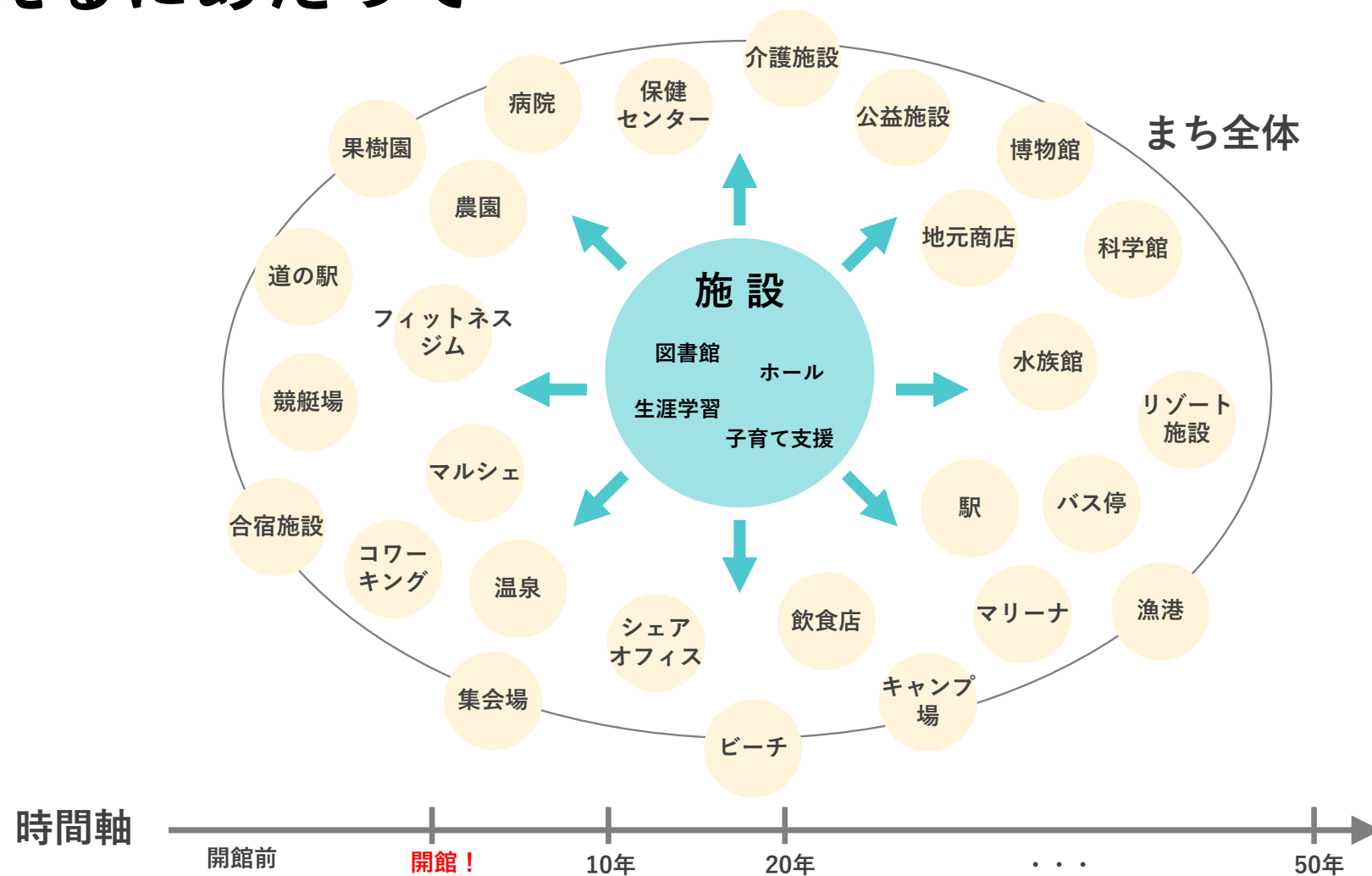
● 長期的な時間軸

施設が完成することがゴールではなく、スタートです。
10年後、50年後にも新たな活動やつながりが生まれ、まち全体が豊かになるなど、長期的な視点を持って考えます。

● ソフトとハードのバランス

施設のハード(建物)がしっかりしていても、それを活用する人、活動、交流がなければ、広がりが生まれません。ハードに必要なものだけでなく、アイデアや取り組みが持続的に実現されるよう「ソフト」と「ハード」の両側面から考えます。

考えるにあたって…



今日のアイデアが活かされるところ

- 基本計画における、施設の中だけでなく外とどうつながるかの考え方や、それがまち全体に与える影響に関する内容
- 基本計画の事業・サービスにおいて、
他組織との連携や、地域活性化に関する取り組み等に関する内容
- 一つひとつのアイデアは、運営する段階で振り返り、
具体的な事業や企画に活かせるかも！

グループワークの進め方



1 | 前回の振り返り

10分

2 | シンキングタイム

10分

3 | グループ内発表・まとめ

40分

4 | 全体発表

20分
1チーム3分

1 | 前回の振り返り

前回のワークショップで挙げられたアイデア、ワークシートをお配りしています。ご自身のグループで話し合った内容を振り返るとともに、他のグループで出たアイデアについても気になるものがあれば、グループで話し合ってみてください。



2 | シンキングタイム

前回のアイデアをベースにしながら、「あの場所と(で)、こんなことができれば面白い！」というアイデア、施設がまちの人や他の施設と一緒にできることを、付箋に書きましょう。

- 考えられる施設名や、連携方法について、具体的に書いてもOKです

まち歩き
マップを
つくる

地域がつく
ったものを
施設で販売

市内のアート
に触れる
ツアー企画

潮干狩り
→調理
イベント

3 | グループ内発表・まとめ

STEP 1 アイデアを共有しよう！

ワークシートに付箋を貼りながら、アイデアをグループメンバーに発表しましょう。

メンバーの意見を聞きながら気づいた点があれば、意見を出し合いましょう。

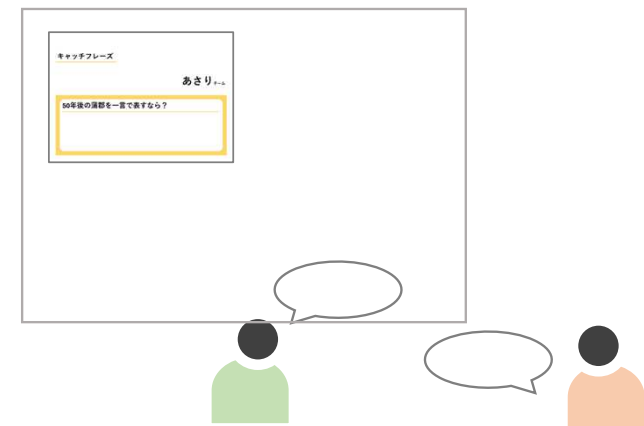


3 | グループ内発表・まとめ

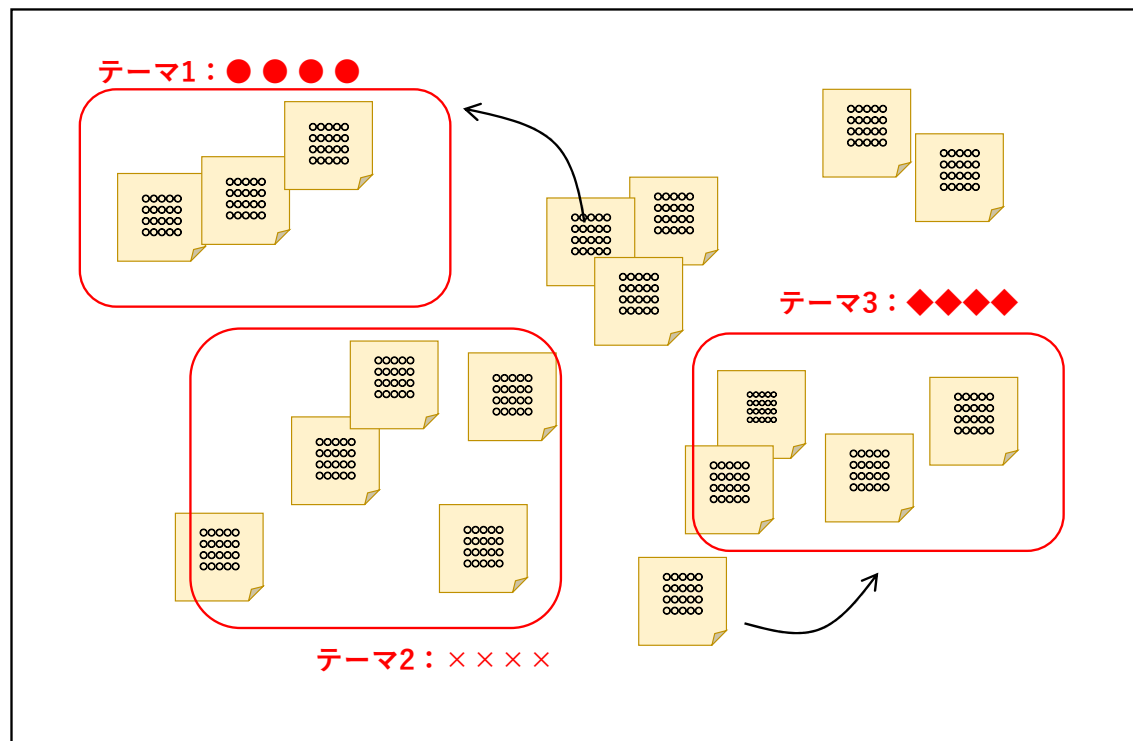
STEP 2 キャッチフレーズを考えよう！

途中で思いついたアイデアを付箋に書いて足し、関係性から気づいたことをワークシートに書いていきましょう。

意見全体を見渡して、50年後の蒲郡がどうなっていくか、キャッチフレーズを考えましょう。



- グループとして、売りにしたいところを決める



キャッチフレーズ

あさり_{チーム}

50年後の蒲郡を一言で表すなら？

- 一つのキャッチフレーズとしてまとめる

4 | 全体発表

最後に、グループの代表者にグループワークの成果を発表していただきます。

全体発表へ向けて、グループとして説明したい内容を整理していきましょう。



5 | 投票

全てのグループの発表を聞いた後に、シートを見て
回る時間を設けますので、その中で「共感した！」
「納得！」と思ったアイデアにシールを貼ってくだ
さい。



ワークショップのお約束

- は 恥ずかしがらずに、どんどん書いてみる、出してみる。
- ひ 否定しない！ 自分と違った意見も、それもあるね。
- ふ ふせん1枚に一意見。なるべく沢山、なるべく短く。
- へ へえ！ それ、いいね！ 真似してOK！ 便乗して発想を広げる。
- ほ 他の人・グループの意見を聴く、褒める。

アイスブレイク

-自己紹介-

100の質問



パッと開いたページの質問を、
時計回りに隣の人に聞いてみよう

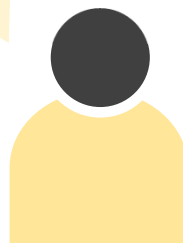


本を開いて質問する

質問への回答

つついちゃうくせは？

つついちゃうのは…



質問したら、本を手渡す

答えたら、
次の人に質問する

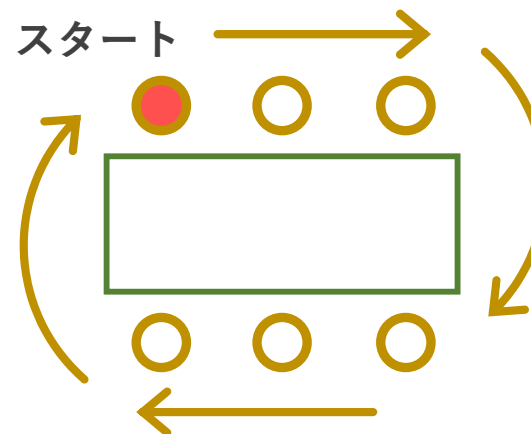
以降、繰り返し

できるように
になりたいことは？

…



スタート



時計回りに
一周する

グループディスカッション



10分

前回の振り返り



シンキングタイム



グループ内発表・まとめ



全体発表

グループワーク



前回の振り返り



シンキングタイム

10分

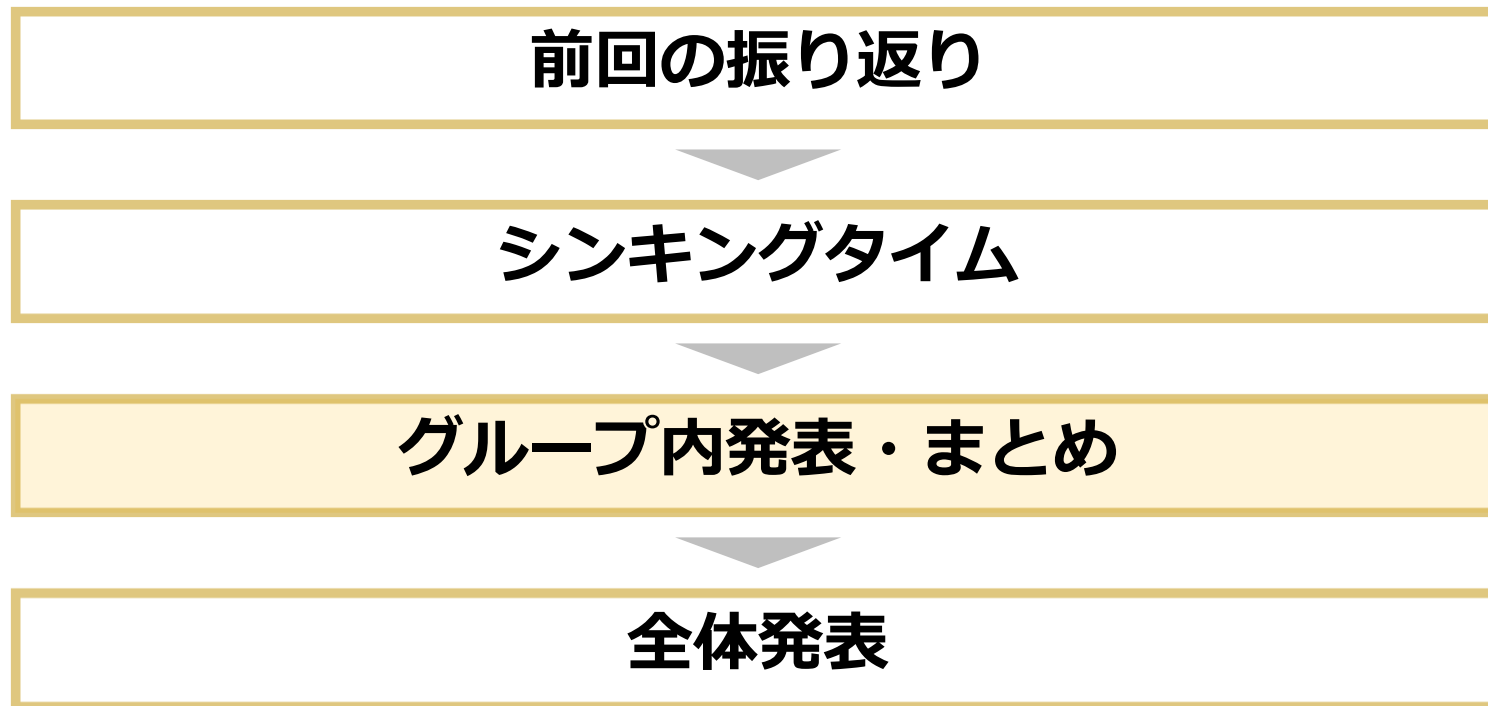


グループ内発表・まとめ



全体発表

グループワーク



30分

休憩

15 : ●まで

グループワーク



前回の振り返り



シンキングタイム



グループ内発表・まとめ



全体発表

20分

今後のスケジュール

4月20日（日） 第3回 ワークショップ

時間 14時～16時予定（13時半 開場）
会場 蒲郡市民体育センター 大会議室

6月22日（日） 第4回 ワークショップ

時間 14時～16時予定（13時半 開場）
会場 蒲郡市民体育センター 大会議室

ご記入頂いたアンケートは受付で
名札と一緒にスタッフへお渡しください。



おつかれさまでした！

お気をつけてお帰りください。第3回もお待ちしております。